

所 属 鳥取県漁業協同組合（福部支所）
氏 名 いまじま ゆうこ
今 嶋 裕子
船 名 みとくまる
三 徳 丸 0.2 トン
漁業種類 潜水（アワビ、カキ、ワカメなど）



～福部の将来を背負う海女～

福部には二人の海女がいる。その一人が今嶋さんだ。今嶋さんは愛知県名古屋市の出身だが、結婚して鳥取に移住した。現在は2人のお子さんを持つお母さんだ。

海女を目指したのは、テレビで鳥取県が海女文化振興をしていることを知り、興味を持ったのがきっかけ。ただし、海のことについては全く知らなかったので、0からのスタートとなった。最初は浜村支所で潜水の研修を行い、その後に福部支所で海女漁に着業した。

今嶋さんのモットーは「安全第一」。当たり前のことだが、身一つで海に潜るのは想像以上の危険が伴う。海の状況を見極めて、今日は潜るかどうかを判断しなければならないが、変わりやすい日本海の自然が相手では一筋縄ではいかないようだ。それでも、潜ったときに大きなアワビを見つけることができれば、その感動はひとしおである

海から上がると海女から母親へ戻る。子どもたちの世話や送迎など陸でも忙しいが、今嶋さんはこれからも周囲の期待と福部の将来を背負い、海女漁を続けていく。

～海女の未来を想う～

今嶋さんの現在心配していることは漁場の資源量だ。大きな収入を得るにはたくさん漁獲しないといけないが、獲りすぎると今後獲れなくなってしまう。海女仲間がもっと増えてほしいという思いもあるが、海の資源量を考えると難しいのだろう。海と海女の将来を想う姿に未来の大海女の一端を垣間見た。

（文責：西田 智亮）